



「福祉と医療の連携を考える会」に参加しました

2024年6月9日福岡県を中心に活動されている「NPO法人 列島会」「社会福祉法人 あきの会」「NPO法人 ゆとり」が合同で主催する「福祉と医療の連携を考える会」に参加しました。3法人は多岐にわたる福祉事業を展開されており、事業内容は訪問看護・介護、グループホーム、療養介護、医療型障害児入所施設、就労継続事業、計画相談など幅広い支援をされています。トピックス発表でむすびプロジェクトの活動報告、公式LINEで行っている退院後の支援、復職・就労支援の取り組みを中心に発表させていただきました。

出張のスケジュール

参加者：リハ：3名 看護：2名 連携：2名

6/8

なないろ診療所（社会福祉法人 あきの会）
生活介護 想（NPO法人 列島会）

香椎丘リハビリテーション病院
（社会医療法人財団 池友会）

6/9

「福祉と医療の連携を考える会」参加
発表者：井上（千葉みなと）

【福祉と医療の連携を考える会】では午前中はシンポジウム・教育セミナー（就労支援・相談支援）午後は、トピックス報告、地域における多職種連携 事例報告がありました。シンポジストの一人、高次脳機能障がいを考える会（虹）代表 石井さんは、整形外科医である息子さんが事故に遭い重度の障害が残ったことにより絶望と希望を繰り返し、家族として何をすべきかを考え活動されています。入院中に会える患者さん・家族の生の声を聴き、課題を抱えながらも、誰もが地域で暮らしていけるようにするため、医療と福祉施設の連携の重要性を改めて実感しました。



8月・9月 LINE配信内容

自宅で出来る

五十肩体操



わかりやすくお伝えします！

介護保険の
制度について



むすびの活動 NOW

8月2日 第3回むすびプロジェクト研修会

テーマ：その人らしさを支えるチームアプローチ
患者さんとの関わりで大切なこと、入院中から退院後の生活を想定して支援を考える大切さを講演しました



編集後記

【今月の編集者 自己紹介】

はじめまして、八千代リハビリテーション病院の看護師 伊東です。むすびプロジェクト専従メンバーとして、去年・今年と九州への出張に参加させていただき、たくさんの方々と出会い貴重な体験をさせていただいています。活動を通して、回復期リハビリテーション病院入院時から退院後の生活期を考えながら支援する重要性を日々学んでいます。これからも“むすびって何やってるの？”と言われることが少なくなるように活動していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

★次号2024年11月号もお楽しみに！

